



# 学校だより 5月号

令和8年4月30日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

## ふれあい「わくわく」「にこにこ」があふれる学校

校長 藁科 直希



1年生が入学してもう少しで1か月がたとうとしています。少しずつ小学校生活にも慣れてきて、発表する時にピンとまっすぐに手を挙げている姿や、先生や友達の話にしっかりと耳を傾けている姿、ひらがなを一文字一文字丁寧に書いている姿、給食を「おいしい。」と「にこにこ」の笑顔で食べている姿、元気いっぱいに歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりしている姿、給食当番を力を合わせて行っている姿などを見て、思わず「にこにこ」の笑顔になっています。日々できることが増えている1年生のこれからの成長がとても楽しみで「わくわく」しています。私も鴨志田緑小学校の1年生として、子どもたちと共に成長していきたいと思えます。

また、入学式の時に、1年生に「気持ちの良いあいさつのできる人になってください。」という話をしましたが、「おはようございます。」「校長先生、さようなら」など気持ちの良いあいさつをしてくれてとてもうれしく思います。気持ちの良いあいさつをしてくれるのは1年生だけではなくありません。毎日、校門や南門で子どもたちの登下校を見守っていると、自分から進んであいさつをしてくれる児童がとても多いです。中には、「見守ってくれてありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えてくれる子や「校長先生、じゃんけんしよう。」と言って毎日じゃんけんをしている子もいます。給食室に給食を返却する際には、「給食とてもおいしかったです。」と調理員さんに自然と感謝の気持ちを伝えている児童がいることも、とてもすばらしいと感じています。

4月17日には、1年生を迎える会が行われました。2年生から6年生の1年生の入学をお祝いする温かい気持ちが伝わってくるととても素敵な会で、「にこにこ」の笑顔にあふれていました。4月28日には、2年生が1年生に学校の様々な場所を紹介する学校探検が行われました。1年生と手をつないでやさしく接する2年生の姿を見て、とても頼もしく思い、思わず「にこにこ」の笑顔になりました。校長室から出ていく際には、「ありがとうございました。」と礼儀正しくあいさつをしてくれました。6年生は、1年生の掃除の手伝いやタブレット学習を開始するサポートなどもしてくれています。1年生の目線に合わせて、やさしくふれあっている姿をとても微笑ましく思います。

各学年の花壇や農園での活動もスタートしました。畑の先生のご指導をいただきながら、自然とふれる豊かな体験ができることを大変ありがたく思い、「わくわく」しています。

休み時間には、可能な時には校庭で子どもたちと遊ぶようにしています。一緒におにごっこをしたり、雲梯をしたり、ボール遊びをしたりしています。「校長先生、遊ぼう。」と誘ってくれる子どもたちの声に思わず「にこにこ」の笑顔になります。



これから子どもたちや鴨志田緑小学校のどんな素敵なところを見つけられるか「わくわく」しています。様々なふれあいを通して、「わくわく」や「にこにこ」があふれる学校をしっかりと引き継いでまいります。